

旧樺戸集治監本庁舎（月形樺戸博物館） / 月形町



開庁当時の樺戸集治監

～北海道の開拓を担った功労者の歴史をたどる～

現存する旧樺戸集治監本庁舎は、1881（明治14）年開庁時の建物が火災で焼失したため、1886（明治19）年に再建されたものです。

外壁は下見板で、屋根は銅板葺き、窓は上下に開閉する洋風の意匠を取り入れています。入口の石段も1886年の再建時から使われ、札幌市石山から切り出された凝灰石（通称：札幌軟石）という柔らかい石のため長年の人の出入りにより深くすり減っております。

集治監に収監されていた囚人は、北海道内陸部の道路開削や屯田兵屋の建築などに従事し、北海道開拓の基礎を築きました。

建物内には典獄室（現在の刑務所長室）が復元されており、別棟の博物館（本館）では樺戸集治監39年間の歴史を当時の資料を基に展示・解説しております。

住所	〒061-0592 月形町1219番地
公開状況	公開
開館期間	4月～11月
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）
入館料	小学生・中学生（個人100円／団体50円） 高校生・大学生（個人150円／団体100円） 一般（個人300円／団体250円） ※団体は10名様以上
アクセス （自動車）	札幌から約44km 約1時間 【道央自動車道 江別東IC降 約34分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約1時間30分 JR学園都市線 石狩月形駅降車
問い合わせ	月形樺戸博物館 電話：0126-53-2399 E-mail：shoko@town.tsukigata.hokkaido.jp
URL	http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/